

2015年5月19日

## パルテックエナジーにおける新バイオマス発電事業について

兵庫パルプ工業株式会社は、このたび子会社パルテックエナジー株式会社において新たな木質バイオマス発電事業の開始を決定致しました。

当社は1993年パルプ廃液（黒液）燃焼による3号発電設備（38,700kW）からの余剰電力の販売を開始し、2004年にはリサイクル材燃焼による4号バイオマス発電設備（18,900kW）を新設、同設備は2013年には再生可能エネルギー固定価格買い取り制度（FIT）の認定を受け、現在は未利用材・一般材も一部混焼しています。

パルテックエナジーにおける新バイオマス発電設備は未利用材、一般材、リサイクル材を新たな視点から活用するもので、発電出力は22,100kW、設備の稼働は2017年12月を予定しています。

新設備はパルプ材に適さない木質チップ、林地残材、製材バーク、開発材、未利用のリサイクル材を利用します。

当社は新設備の完成によって、あらゆる木質資源をパルプ原料及びバイオマス燃料として活用し、地域の森林と林業の再生に些かでも貢献できるよう、資源・環境型事業を推進していきたいと考えています。

なお、新発電設備は今年1月、5号バイオマス発電設備としてFITの認定を受けています。

### 新バイオマス発電事業 概要

事業者	パルテックエナジー株式会社
所在地	兵庫県丹波市山南町谷川858番地（当社敷地内）
資本金	50,000,000円
事業内容	木質バイオマス発電、建材パルプの製造及び販売
使用燃料	未利用材、一般材、リサイクル材、PKS
主要設備	水冷式ストーカーボイラ、蒸気発電設備
蒸気条件	6.0MPa、480℃、85トン/時
発電出力	22,100kW
投資額	80億円
設備稼働予定	2017年12月